

学校関係者評価結果

本年度においては9月に学校関係者評価委員会議を実施した。委員会の中で本校の行った令和5年度自己点検の評価についてすべての項目において了承を得た。

評価委員からの主な意見は次のとおりである。

- ・今回は話題になりませんでしたが、（前回話題となった）通信教育課程からの入学者の増加への対応が求められていくかと思います。一条校も同様ですが、どうしても定着率・退学率にむずかしさが見られます。今まで通学する習慣のなかった学生への対応が求められるかと思います。御校が掲げる「選ばれる学校」「入りたい学校」へ入学してきた学生ですので授業以外に学校へ行きたいと思わせる手だて更に必要でしょう。楽しい場所、友人や教員との交流の場の設置や学内でのイベントを増やす、あるいはカルチャーセンター（講座）の設置等、決して学生に阿る必要はないと思いますが所謂「居場所がある」ことが肝要かと思います。毎回、新たな取り組みや改革に取り組まれているお話を伺い教職員一丸となって前進されている姿勢を応援していきたいと思います。
- ・自己評価表を拝見させて頂きました限りですが、学校運営の部分で、厳しい評価をされているように感じました。どの組織も同様ではございますが、組織の情報共有、意思伝達方法など、課題は多くあるかと思います。環境を変える為にも、IT化が必要になって来ますが、時間と労力と費用が掛かりますので、簡単に進めて行ける訳でもありません。貴校の組織、教育、取り組みにつきましては、素晴らしいと常に感じておりますので、貴校に合わせてた形で、システムを取り入れて行かれる事がよろしいかと思います。
- ・時代の先を見据えた施策と実行、我々企業側も勉強となります。反面、教員1人の守備範囲が広くタスク過多になってしまうリスクもあると思います。教員の方々の心身ケア・リフレッシュ面もより充実してもらい、その魁になるノウハウも共有していただければ、企業側でも取り入れたいと考えています。
- ・出席管理の統一化が実施されると教員、学生、保護者共にリアルタイムでの管理がなされ出席数不足などが発生しにくくなるのではないかと思います。貴校ならば可能だと思います。退学率は、5%を切っているとはいえ昨年より増加傾向にあることが感じられ来年度5%に近づいてしまう可能性もあるのではないのでしょうか。対面になったが故の対人関係など更なるサポート体制の強化をお願いしたいです。実施した結果としての奨学金は良い制度だと思います。交通費やミーティングなどで時間やお金がかかることもあるのでボランティア活動を頑張った学生も評価されると良いなと思いました。委員会配布資料にこの書式があったことでメモを取ることができ、評価表への転記が行いやすかったので次回も配布をお願いします。現時点でこんなことを知りたいなどは事前にお知らせいただけると情報網から集めてきやすいと感じました。
- ・卒業した人材に対する永続的なサポートと情報などの共有と連携を図るなど学校側との関係を強化し双方に効果的なメリットが生まれる組織のあり方に検討の余地があるのではないのでしょうか。
- ・全体的に各項目について分析を実施し、課題点に対してしっかり改善策を準備しています。社会が求める新しいニーズにも新学科創設、設備の更新などで対応しています。地域社会とのコラボ

レーションも活発なところも評価できます。放送業界においては八王子周辺とのつながりでは希望職種への就職に結びつく要素が少ないので、OB・OGと通じた業界とのコラボも検討いただければよいと思います。また、育成奨学金制度も良い施策だと思います。就職活動で大学生と比較されるときに「専門的な知識を持っている。」「努力が評価された」というプライドを持たせることで、自信も与えることができると思います。

- ・リスキリングについてお話が出ましたが、当所は情報分野においてはITシステム構築等、外部企業に頼っており、自前で対応したいところですが、当所職員に学び直しの機会を与えたくても現状の仕事で時間がありません。そこで、お話をさせていただいたとおり、即戦力の学生さんを必要とし新卒の募集をしているところです。中小、小規模事業者の規模や内容にもよりますが、企業の代表は、「英語はやっぱり大事だな」とよく公言しています。今や中国語、韓国語、その他も必要な時代と言えますが、技術力とともに語学が少しでも活用できる学生を育成できれば、大きな魅力となるのではないのでしょうか。学生の募集に際しては、アジア圏の新たな地域からの留学生も増えているようで、日本語の習得や就職活動、その他手続きなどに新たな課題が出てくるかと思っています。当所には、公的な手続等様々な分野でお手伝いできる専門家がおりますのでご遠慮なくご相談ください。

以上

令和 6 年 9 月 30 日

日本工学院八王子専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 森 健介 様

日本工学院八王子専門学校
校長 山野 大星

令和 5 年度の学校関係者評価委員会において討議された内容をふまえ、以下の 5 点について検討していきます。

1. 社会のニーズに対応するため、新設学科の検討を行います。
2. 第一志望の学校に選ばれるため教育の質の向上を図ります。そのため教員の業務負担の軽減、教育研修の実施、研究授業等に取り組んでいきます。
3. 学生の努力を評価する「若きつくりびと育成奨学金」を引き続き実施し、学生のモチベーションの向上を図ります。
4. 留学生対象の日本語講座と就職促進のための講座を開催し、留学生教育サポートを強化します。
5. 教職員の満足度調査を引き続き実施し、問題点の洗い出しを行い、満足度向上を目指します。

以上